

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2021年 2月 24日

事業所名：PARCにしのみや

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	新たな机上活動スペースを設け、ハンモックの位置を調整したことにより、遊びの選択が出来るようになった。	・様々な遊具もあり、走り回ることのできるスペースが確保されている。 ・静と動の活動場所がきっちり区別しており、子どもも選びやすい。 ・広々としていて、めいっぱい遊べます	遊びの選択が出来るようになり、安全確保も出来るようになった。
	2	職員の適切な配置	コロナ禍により、事業所間での巡回を制限。	・いつもそばで支えて下さる ・各専門の資格を持っていられるスタッフの方々なので相談もしやすいです。	コロナが落ち着き次第、セラピストの巡回も充実させていきます。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	場所を区切って遊べる空間が出来た。	・部屋の広さも調度よく子どもも何がどこにあるかはよく知っているため、自ら進んで動いています ・わかりやすく、利用しやすい	絵本コーナーを作り、構造化した支援を検討していく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	コロナ禍でも安心して利用してもらえるように、状況に応じてアルコールの設置し、おもちゃの消毒や換気の時間を確保している。	・いつも、清潔で片付いています ・いつも整理されており心地よい ・トイレなども、しっかり清掃がいき届いているので、子どもも安心して使用しています。	今後も継続して清潔を保つ。引き続き衛生面・安全面に配慮する。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	新しいソフトを導入し、子どもたちの様子を共有しやすくなった。週1回の職員会議、毎朝のケースカンファレンスの実施。		
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	コロナの影響により延期。		
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	コロナの影響により、オンライン研修の導入。		
適切な支援の	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画書を作成するにあたり、適宜、療法士との連携を図っている。	・子供のことをよく見て下さり、支援計画を立てて下さっている ・定期的に見直して頂きながらも、小ステップでの見直しなので大きな変化をつけずに成長を見守られるような配慮を頂けてます。 ・ゆっくり話を聞いて下さって丁寧に作成していただきました ・課題に対して具体的な支援を考えてくださ	全職員が保護者と話す時間を設けられるように人員配置を行う。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成			

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	モニタリング結果に基づき、保護者に対して計画書を示しながら、支援内容の説明を行い、同意を得ている。	る ・公私生活に関する項目があるので、学校での部分と自宅での部分を考えて下さっています。	興味、関心に基づき提案し、支援に繋がっていく。
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	子どもの主体性を尊重し、一人一人の活動に合わせた支援を実施している。	・意識して下さっている ・本人主体の活動で見守って下さっています。	子どもが主体となるようなプログラムを継続しながら、遊びの幅を広げていく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	会議等で事前に職員間で話し合い、チームで考案した内容に取り組んでいる。	・お声がけで誘導して下さっている ・同じ活動が続くような場面では、スタッフが声掛けをしてくださっていることもあります	療育後、職員全体でケースカンファレンスを行い全体的な支援に繋げる。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	一人、一人の利用児に応じた個別療育を実施。		個別療育をメインとし、利用児に合わせた集団療育の開催を考慮していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	視覚的な選択肢を増やし、遊びの幅を広げられるように提案していく。		子どもの主体性に合わせ、提案できる選択肢を増やせるような配慮。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎朝の朝礼にてその日の業務確認の実施。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	新しいソフトを導入し、翌日の朝礼にて共有を行う。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	新しいソフトを導入し、職員間で共有し支援の検証・改善に繋げている。		

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6ヶ月に一度モニタリングを実施し、更新や継続への判断を行っている。また、保護者へ利用時に子どもの様子を伺い、支援に反映している。		
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	児童発達支援管理責任者を中心に支援に携わる児童指導員も出席し、その子どもの状況を的確に伝えられるようにしている。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	法人内の訪問看護ステーションを通じ、看護師同席のもと、必要に応じて対象利用児のアセスメントを行う支援を実施している。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	必要に応じて、医師の指示書等の書面を確認している。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	移行支援の状況に応じて報告書を作成し、書面や支援会議への参加で共有している。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	卒業を見据え進路に向けて相談支援の実施。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	西宮こども未来センターや北山学園等との連携を図っている。		

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	利用児のきょうだいの参加もあり、一緒に活動する機会を作っている。	・PARCではないが普段幼稚園には通っている ・希望すればご提案下さるかもしれないが、現在必要とおらず分からない。 ・コロナ禍では難しいと思いますが、いずれそういった機会があればいいと思います ・特にないです。ですが、日中学校へ行っているのでPARCでする必要性を感じることはないです。	個別療育の為、交流の機会は設けていないがきょうだい児の参加もあり、一緒に活動する機会を作っている。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍により延期。		
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に、利用契約書ならびに重要事項説明書に記載の各文章を口頭で行っている。また、改定等の案内文を事業所内に提示し利用時保護者への周知を行っている。	・いつもご丁寧にご説明下さる ・して頂いたと思いますが、忘れてしまいました。	引き続き、掲示でのお知らせ、口頭での説明を行う。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6ヶ月に一度モニタリングを行い保護者に対して計画書を示しながら、支援内容の説明を行い同意を得ている。	定期的にさせていただいています。	引き続き、モニタリング・アセスメントを行い、丁寧な説明に努める。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者対応の時間を確保。	・いつも助言をいただいています ・自分の中にある考えをスタッフにお話しする事で、第三者の意見を教えていただけるのはありがたいです。 ・知識をもって、ご助言下さり、ご支援下さる ・木曜は仕事があり、本人のみになります	職員間で連携を図り、保護者へ専門的なアドバイスを行えるようにする。日常生活で行える工夫等を伝えていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	親子参加型の為、利用ごとに保護者と子どもの状況を共有する機会があり、密接な関わりを持っている。	・こちらがもじもじしていても、聞いて下さり、ご助言下さいます。 ・毎回、最近の様子を聞いてくださったり、成長したと思うことを伝えて下さいます。	ご家庭や学校園等の利用児の状況を確認し、引き続き共有を行う。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	利用児に対して担当制は設けず、多職種連携し各々の視点から相談支援を行っている。	・いつも話を聞いて下さり、ご助言下さいます。 ・何気ない会話の中にも、親自身の頑張りを認めてくださったたり、共感して下さるので、気持ちが軽くなります。	来所時、利用児の状況を確認し引き続き共有を行う。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ禍により延期。	・今年度はコロナの影響で仕方ないかと ・2組だけなのですが、あまり交流はないです。 ・去年はあったが今年はコロナの影響で開催されていない ・コロナで開催せきないことは理解しています。 ・コロナで開催できない事は理解しています ・去年は茶話会がありましたが、今年はコロナもあり難しかったと思います ・普通級に通っていたりと軽度なためなのかお誘いはありません	今後も実施出来るよう企画する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	意見箱を設け、迅速な対応を徹底している。	・以前、ご説明いただきました ・そのような場面に未だ出逢っておりません	全職員で共通認識し、迅速に問題解決することに努める。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	写真や絵カードを用い、視覚的支援も実施。	・話しかけて下さいます ・連絡ファイルを活用させて頂いています。	引き続き一人、一人に合わせて行う。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月一回「PARCだより」と称した情報通信を発行し配布している。他にSNSやホームページのブログなども定期的に更新している。	・おたよりをいただきます ・会報、いつも楽しみにしています ・休日の予定をもっと早く教えて欲しいです ・月初にPARCだよりを頂いています。	臨時休館等、事前に分かっている際は、早めに告知できるよう徹底する。

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵つきの書庫を使用し厳重に保管。		引き続き個人情報等に配慮しながら、定期的に更新を行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	コロナの状況に応じて書面での通知、メール配信。	・その都度ご説明いただいています。 ・適宜、ご案内やお知らせがあります	個別支援計画書に記載する。 徐加湿器を導入し、環境設定し、感染症予防。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	通報や消火訓練を利用児を含めて年2回実施し、PARCだよりにて報告を行う。	・事業所としてはされているのかもしれないが、療育中に行われたことはない。 ・消防訓練などは、子どもも興味を持って取り組めていました ・そのような場面に出逢っておりません	全員に分かるよう避難訓練の掲示を行う。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内での研修に必ず参加している。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	対象児がいないため、行っていない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	集団療育等で職にををする機会には、事前にアレルギーの有無を確認している。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットに対し迅速な報連相を徹底し、書類作成・事例ファイリング保管。職員会議を中心に共有している。		